

恵那市教育委員会における教科書採択に係る議事録

開催日：令和8年7月28日（火）

場 所：恵那市役所西庁舎4階会議室

出席委員	教 育 長	岡 田 庄 二
	教育長職務代理者	西 尾 修 欣
	委 員	小 栗 秀 子
	委 員	樋 田 東 洋
	委 員	村 松 訓 子

教育委員会事務局職員等

副教育長	伊 藤 政 之
事務局長	西 尾 功
教育総務課長	瀬 瀬 千 尋
教育総務課総務係長	志 津 博 光

- 教育長 令和9年度使用教科用図書の議決について、事務局から説明する。
- 事務局 5月に開催した第6回教育委員会定例会において、教科用図書等の採択協議会の設置についてご承認いただいた。その後、協議会において令和9年度に小中学校で使用する教科用図書の採択案が決定された。こちらがその一覧になる。
- この年度においては、前年度と同一の教科用図書を採択するということになっているので、令和8年度と同一のものとなっている。これについて議決をお願いする。
- 教育長 基本的に今年度と同じものを使うということだが、実際に教科書を使用してみた反応や、今回の改定で教科書の発行者が変わったところがあるので、そこも含めて教科書の扱いのよさなどの情報があれば教えていただきたい。
- 事務局 小学校の教科用図書については、今年度が同一のものが3年目の使用になる。中学校は今年度で2年目になる。それぞれ小中学校の教職員に使い勝手について確認をしたところ、全体として大きく2点挙げられる。まず、イラストや写真が多く使われている、あるいは文字の配列などレイアウトに工夫があるということで、学習する内容が視覚的に児童生徒に分かりやすいという使い勝手のよさが挙げられた。もう一つ大きな特徴として、今回の教科用図書はQRコードがどの教科においても掲載されており、このQRコードを使うことによって、動画や資料が視聴できるコンテンツ、リンク先に飛ぶことができるので活用しやすいといった意見、そのリンク先で子供たちが自分で調べたいことを調べることができる資料にたどり着くことができるため、非常に活用しやすいという声を聞いている。
- 次に、前回の採択替えの時に、これまでの教科書発行者から変更があった教科についてお伝えする。小学校は1社のみ。算数が前回までは大日本図書であったが、今回から東京書籍になっている。こちらについては、補充の問題について量や難易度ともに充実していてよいという意見を聞いている。
- 続いて中学校です。書写について、前回までは東京書籍であったが、今回は光村図書になっている。この教科書については、教科書の巻末に「学びの鍵」というページがあり、そこで観点がまとめて掲載されていることで、1年を通してそのページを見ながら学ぶことができるとい

うよさが挙がっている。

社会科は、地理的分野・歴史的分野両方とも、前回までは東京書籍であったが、今回は帝国書院になっている。使い勝手としては、地理的分野及び歴史的分野双方とも、章ごとに見開きの構成がパターンのに見やすいことや、章ごとの流れと構造が分かりやすくできているという声を聞いている。

あと1教科、数学で、こちらも小学校と同様で、前回までは大日本図書であったが、今回は東京書籍になっている。こちらについては、数学的な見方・考え方を育てられる内容が多くなっているということと、デジタルコンテンツや習熟プリントなどが豊富で活用しやすいという使い勝手のよさがあるという声を聞いている。

教育長 前回の採択のときに発行者が変わったところを主に説明させていただいた。現在の様子について何か質問等あるか。それでは採択に移る。恵那市の採択については、東濃採択地区協議会において選定された教科書案のとおり承認することによろしいか。

委 員 (全員) 異議なし

教育長 異議なしと認める。よって、この案どおり、採択するということによろしく願います。